



ビジネスマンの流儀 ～シャツにこだわる ③

※前回344号では「デザインで楽しむシャツ」についてご紹介しています。



徳武 初男 氏 (信越支部長)

長野県千曲市に本社を置きシャツ製造販売を事業とする「フレックスジャパン株式会社」で取締役、FS事業部担当役員を務める。長年シャツ業界の一線で活躍。卸部門の営業、SE、生産管理、国内外の直販などアパレル全般に幅広い知識を持つと共に、中国のビジネス事情にも精通している。地元の信州の山々をこよなく愛し、休日は山小屋で過ごす自然派の一面も。ビジネスの話題や日々の暮らしの所感を趣味のスケッチと共に綴ったブログ「里山生活」も好評。

●フレックスジャパン株式会社 <http://www.flexjapan.co.jp/>

●直営ストア(プラトウ) <http://www.flexjapan.co.jp/store.html>

●里山生活 <http://satoyama.naganoblog.jp/>

ネクタイとシャツ / シャツのお手入れ

● ネクタイをシャツに合わせるには

シャツにこだわり始めると、ネクタイとの組み合わせが難しくなる、という話をよく聞きます。確かにさまざまな色や柄のシャツだと、ネクタイをどのように組み合わせたらいいか迷いますね。

ネクタイにはいろいろなパターンがありますが、ネクタイで遊んでもイメージがあまり変わらない。むしろ雰囲気を変えられるのがシャツ。シャツでオシャレを楽しむのなら、ネクタイは至ってシンプルでいいのです。シャツ好きの私のおすすめは、ネクタイをエンジ、ネイビー、黒の無地系のもので本が揃えておくこと。そうすれば、ほとんどのシャツでは無難に収まることが多いのです。



同系色で揃えると落ち着いた印象に

シャツと組み合わせるときに、落ち着いた印象にしたいときは同じ系統で揃え、ちょっと刺激的にするときには反対色のネクタイを。シャツやスーツから色味を引っ張ってきてネクタイの色と合わせても、しっくりとした印象になります。

● ネクタイは結び方にこだわる

ネクタイの結び方をシャツによって変えている人は、少ないのではないのでしょうか。でも実はシャツの襟のデザインに合わせて、ネクタイの結び方は変えるのがルール。スタンダードな結び方であるプレーンノットに加え、セミウィンザー、ダブルノットの3種類の結び方はぜひ覚えておいてほしいと思います。



結び目の下、大剣(ネクタイを身につけた際の正面)にできているディンプル

ここでは結び方は省きますが、順番に結び目がすこしずつ大きくなる結び方です。一般的なシャツならプレーンノットでいいのですが、イタリア系やモード系などデザイン性が高く、襟が大きかったり襟台が高いもの、あるいは襟先が広がっているシャツでは、セミウィンザー、ダブルノットといった大きな結び目の方がしっくりときます。シャツの襟に合わせてネクタイの結び方を変える、身なりへの気遣いの表れですね。

ネクタイを締めるときには結び目の下にディンプル(くぼみ)を作ることにも忘れず。これが本来の、正式なネクタイの結び方です。ディンプルがあるとネクタイに立体感が出て綺麗に見えますし、私は身なりに気を使っていますよ、という印象を相手に与えることもできます。さらにネクタイの結び目はきちんと締めて、襟元で結び目がキュッと立つようにするとおしゃれポイントも上がります。

結んだネクタイは、ベルトのバックルが隠れるくらいの長さにし

す。それで細剣が長くなってしまう場合はスラックスに入れて隠してしまいましょう。これもひとつのルールとして知っておいてください。

● シャツのお手入れ方法について

シャツのオシャレを楽しむようになると、お気に入りのシャツが増えて、大切に着たくなります。シャツというのは本来、消耗品ともいえますが、きちんとお手入れをすれば気持ちよく、長く着ることができます。日常のお手入れ方法としては、自宅の洗濯機で洗う方法とクリーニングに出す、という方法があります。普段使いのシャツは、手軽にクリーニングに出す方法もありますが、何度も繰り返しドライクリーニングをしていると、布本来が持つ素材感が失われてしまいます。大切なシャツは自宅の洗濯機で洗い、自分でアイロンをかけるのが理想です。その際にはワイシャツ用のネットに入れて、洗濯機にかけると型崩れしにくいのでおすすめです。

最近は形態安定シャツが多く出まっていますが、これは洗濯機で洗うのが原則。クリーニングに出すと加工が落ちてしまったり、型崩れの原因となるので注意してください。

また、大事なシャツ、高価なシャツだからと長くタンスにしまっていると、きちんと洗濯をしても襟足などに黄ばみが付いて落ちなくなってしまう。それを防ぐためにはタンスの中で2カ月3カ月と寝かさないうこと。お気に入りのシャツは1カ月に一度くらいは袖を通して洗濯をする方が長持ちすることも覚えておいてください。

● 優れたものの機能性シャツ

一昔前はシャツといえば綿100%のものが一般的でしたが、最近ではさまざまな機能性シャツが登場しています。人気の形態安定シャツだけでなく、発汗性や速乾性に優れたシャツも各メーカーからさまざまなものが販売されています。普段使いはもちろんですが、こうしたシャツは出張時に活躍します。スーツケースに押し込んでも、型崩れやシワになりにくい形態安定シャツや、夜さっと洗って手絞りをしてそのまま部屋干ししても、翌朝には乾いているような優れたものの機能性シャツは、長期に亘る出張でも大いに活躍します。また省エネ対応の、着るだけで温かさを増すウォームシャツもこの冬のトレンドのひとつです。デザイン性だけでなく、機能性でもシャツは時代と共に進化していますので、ぜひ皆さんも体感してみてください。



シワになりにくいシャツは小さくためるので、出張にも便利

次回、346号では、ビジネスマンの春の装いについてご紹介いたします。

HUMAN HUMAN プラスは

●ふあみり もあわせてご覧ください!

●ふあみり

<http://jp.fujitsu.com/family/honbu/family/>